



笑顔と輝きに満ちた谷原中

谷原中だより

練馬区立谷原中学校

校長 中嶋 雅彦

平成30年 4月19日

第1号

## 生徒がさらに輝くように

校長 中嶋 雅彦

谷原中学校は、4月9日、172名の新入生を迎え、2年生126人、3年生149人、全校生徒数447人で平成30年度をスタートしました。1年生は、A、B、C、D、E組の5学級とF組の2名の新しい仲間が加わりました。本校では20年以上なかった1学年5学級となり、より活気あふれる学校になったと同時に、教室などの施設面で、対応に苦慮するところがありました。教育活動の充実を図り、多くの生徒がさらに輝く学校をつくる必要があると感じています。

入学式の翌日には、生徒会主催の生徒会オリエンテーションが行われました。2、3年生が新入生に学校での生活の仕方、委員会活動、部活動について工夫を凝らし説明をしていました。本校では、新入生になるべく早く、学校や上級生の様子を知らせ、安心してもらおうと、入学式の翌日に行われます。前年度の3月から生徒会を中心とした準備が行われ、入学式が終わった午後2、3年生ほぼ全員でリハーサルが行われます。私は、そのリハーサルを見るたびに、まさしく年度当初から、生徒自ら作り上げていく谷原中の姿勢が表れていると感じ、大変感動します。その姿勢は、当日、2、3年生の行動により新入生へ自然と伝わっていきました。私は、新たな力が加わり、育てていくことにより、お互いを高め合っていく生徒を育成したと決意を新たにしました。

これらのことを踏まえて、次のような教育理念のもとその目指す学校を作っていきたいと考えております。これは、生徒や教職員の取り組みと地域や保護者の皆様のお力添えがなければ成り立たないものです。平成30年度も本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきますよう、何卒よろしくお願いいたします。

### 【学校経営の理念】

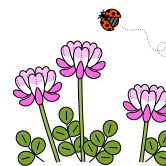
- 多くの可能性を秘めた生徒を、組織としての教師の力を活用し、その良さを伸ばし、自ら社会の変化に対応していく力を身に付けさせるべく教育活動に邁進する。
- 常に社会における人との関わりを大切にし、教育内容や方法を改善、工夫し教育活動を計画し、実践していく。
- 地域における学校であることを大切にし、その地域力を活用し、良きものを大切に継承するとともに、改善に向けては迅速に対応する。

### 【目指す学校像】

- (1) 生徒が安心し、自らを鍛え、成長できる学校
- (2) 人との関わり合いを通し、知識を知恵に変え、社会性を育てる学校
- (3) 教職員全員が専門職としての力量を高め、生徒たちと共に努力し学ぶ学校
- (4) 保護者・地域に学校を開き、信頼される学校

## お世話になりました。

- ◎石塚 芳美 先生 (保健体育科・8年) → 練馬区立石神井中学校 へ  
 ◎高瀬 伸悟 先生 (理 科・7年) → 荒川区立諏訪台中学校 へ  
 ◎渡邊 陵太 先生 (F 組・4年) → 西東京市立明保中学校 へ  
 ◎下山 敏一 先生 (技 術 科・8年) → ご退職
- 佐藤 義則 先生 (社会科講師)  
 ○鍋谷 聡子 先生 (スクールカウンセラー)  
 ○由地 瑠美子 先生 (心のふれあい相談員)  
 ○ 升 貴子 先生 (図書館支援員)



## よろしくお願いします。

- ◎丸山 真弥 先生 (理 科) ← 杉並区立富士見丘中学校 より  
 ◎平野 早織 先生 (保 健 体 育) ← 三鷹市立第五中学校 より  
 ◎浅沼 和子 先生 (社 会 科) ← 練馬区立大泉学園中学校 より
- 岩坪 逸子 先生 (数学科講師)  
 ○松本 紗弥香 先生 (F組・技術科講師)  
 ○加藤 陽子 先生 (スクールカウンセラー)  
 ○井口 祐子 先生 (心のふれあい相談員)  
 ○松岡 佐恵子 先生 (F組・学校生活支援員)



## ～ 今後の予定から ～

### 【4月】

日	曜	おもな行事
23	月	朝礼、あいさつ運動(2年)
24	火	◆腎臓検診(一次予備日)
25	水	◆歯科健診② ◇職員会議
26	木	中央委員会 ◆内科検診
27	金	離任式
28	土	
29	日	『昭和の日』
30	月	『振替休日』

### 【5月】

日	曜	おもな行事
1	火	あいさつ運動(3年) 身体計測、一斉部活動会 評価・評定保護者説明会 部活動保護者会
2	水	
3	木	『憲法記念日』
4	金	『みどりの日』
5	土	『こどもの日』
6	日	
7	月	あいさつ運動(1年)
8	火	生徒総会リハーサル
9	水	◆腎臓検診(二次) ◇区中研一斉部会
10	木	生徒総会
11	金	

### 練馬区学校連絡メール登録のお願い

谷原中学校では、“練馬区学校連絡メール”を利用して情報の発信を行っております。

今年度は、緊急連絡網を作成しないこととしており、災害や防犯、行事等に関する緊急連絡やその他の連絡をお伝えする手段として活用してまいります。

皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。